

平成18年度
事業報告書

社会福祉法人
筑前町社会福祉協議会

平成18年度 事業報告書

総括的概要

市町村の合併に伴い、社会福祉協議会も合併して2年目となりました。

町行政の機構改革等により、事務所をコスモスプラザへ移転し、支所をなくしての運営となりました。

支所をなくした配置変えに、町民のみなさんも戸惑いを隠せない様子でしたが、三輪地区への要請があれば、出向いての対応をすることを行いました。

このような状況の中、公共的立場での地域福祉の中核的役割を担っている、福祉協議会として住民の福祉課題を把握し、自主的・主体的サービスの提供を推進して地域福祉の向上に努めて来ました。

高齢者福祉事業としては、今年についても「いきいきふれあいサロン」を地域のボランティアの方々と推進し、新規に4地区を開会することができ、29地区で開催しています。

青少年福祉事業では、小学生や中学生を対象とし、福祉施設の入居者の方とのふれあいを各施設の方々等のご協力を得て、日帰り及び1泊2日のふれあい体験学習を実施しました。各施設の利用者においても大変喜ばれています。今後も福祉教育充実に積極的に取り組んでいきます。

その他の福祉事業においても、ボランティア団体等の役割が重要視されてきています。

町のボランティア連絡協議会を母体として、活動の拡大を推進するとともに、団体等の育成・支援を行うこととしています。

事項別状況

1. 役員会及び、その他の会議

(1) 理事会	4回
(2) 評議員会・福祉委員会	4回
(3) 監査会	2回
(4) 事務局の定例会	12回
(5) 福岡県社会福祉大会	3名参加

2. 老人福祉事業

(1) ふれあいいきいきサロン

70歳以上の在宅高齢者を対象に、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるように地域のみんなが支えあい、共に元気で楽しく一日を過ごすことができる場所づくりを推進し、高齢者の社会参加の喜びや、健康維持ができる体力・活力を養うことを目標として行いました。

① 実施状況

・実施区	三輪地区	17区
------	------	-----

夜須地区 12区

- ・会 員 数 840名
- ・延べ実施回数 303回
- ・延べ参加者数 6,451名

〈平成18年度区別実績と会員数〉

区 名	男 性	女 性	合 計	ボラン ティア	開催回数	参加人数
大 塚	17	18	35	4	10	132
弥 永	14	28	42	0	10	246
依 井	11	30	41	10	10	221
依井二	4	32	36	18	13	358
高 田	19	12	31	1	10	192
新 町	18	36	54	1	7	201
野 町	14	19	33	9	7	95
原地蔵	10	21	31	3	7	121
久 光	3	27	30	17	13	286
栗 田	1	31	32	13	10	238
森 山	6	17	23	5	7	141
当 所	3	13	16	9	11	185
上高場	9	20	29	12	12	316
大久保	9	12	21	3	6	72
山 隈	9	35	44	2	8	263
高 上	1	25	26	5	13	204
朝 園	2	23	25	11	13	354
篠隈篠隈	8	13	21	17	12	319
篠 隈	5	20	25	13	13	270
松延本村	8	15	23	1	13	238
松延新道	5	21	26	2	10	237
下曾根田	6	12	18	0	11	153
福 島	10	23	33	3	12	281
砥 上	0	22	22	1	12	242
中牟田村	2	18	20	13	12	226
朝 日 東	6	22	28	0	13	276
四 三 嶋	4	12	16	0	11	158
朝 日 西	16	26	42	1	9	279
東小田下	4	13	17	1	8	147
合 計	224	616	840	175	303	6,451

* 開催回数と参加人数には、合同サロンの実績を加算しています。

② サロン代表者会議

- ・ 平成18年4月18日（火）
夜須地区代表者会議 コスモスプラザ第7会議室 17名参加
- ・ 平成18年4月19日（水）
三輪地区代表者会議 めくばり館多目的室 36名参加
18年度の取り組みについてと、各区へ助成金を支払いました。
- ・ 平成18年10月30日（月） 59名参加
篠隈新道区・依井二区の代表者にサロンの様子を発表していただきました。

③ 健康教室（食事教室・転倒予防教室・口腔教室）

健康福祉課の協力を得て、各区で実施いたしました。

- ・ 食事教室 18地区 347名
- ・ 転倒予防教室 9地区 180名
- ・ 口腔教室 6地区 146名

④ 小学生との交流会

子供たちからは、おじいちゃんやおばあちゃんと一緒にゲームや工作などが出来、楽しいふれあいの時間が持てると好評でした。（夏休み・冬休み利用）

- 9地区 大塚区・依井二区・新町区・久光区・上高場区
高上区・朝園区（2回）・篠隈新道区・朝日東区
参加者 小学生 146名 PTA 16名 保護者 1名

⑤ サロン支援ボランティア研修会

- ・ 平成18年9月8日（金） コスモスプラザ視聴覚室 63名参加
講師に野いちごの会の木村モリエさんをお願いし、創作（ラップの芯で楊枝たて）・レクリエーション（手遊び・歌）等を学びました。この作品は各区サロンの創作として行いました。

⑥ 花見

春や秋の季節に花見を行い参加された方からたいへん喜ばれました。

- 参加者 16地区 延べ347名

⑦ ふれあいいきいきサロン合同交流会

- ・ 三輪地区 平成18年12月 4日（184名）
平成18年12月11日（186名） めくばり館
- ・ 夜須地区 平成19年 1月29日（153名）
平成19年 2月 5日（151名） コスモスプラザ敬老館

(2) 独居老人のつどい

70歳以上の一人暮らしの方を対象に、閉じこもりの解消、生きがいつくり、交流を図ることを目的に開催しました。

- ・ 平成18年7月3日（日） コスモスプラザ敬老館
県消費生活相談員の森村先生を招いて、ビデオや講演により「高齢者をねらう悪質商法の対処法」についての研修をいたしました。
参加者 独居高齢者 67名 演芸ボランティア 2名

講師	1名	福祉部会	9名	
社協	2名	合計	84名	
・平成18年11月6日(月) 久留米市山本町				
はぜ並木を散策し、スパリゾートホテルにて交流を図っていただきました。				
参加者	独居高齢者	36名	福祉部会	9名
	社協	4名	実習生	1名
			合計	50名

(3) 金婚祝賀会

第2回筑前町金婚祝賀会を女性センターにおいて、新会員を迎え会員みなさんでお祝いしました。

・平成18年11月20日(月)

新会員数	21組	39名	既会員数	56名
			来賓	9名
			女性部会	5名
			出席者数	109名

3. 青少年福祉関係

(1) 体験学習

① 小学生の福祉施設日帰り体験学習

菊池園・菊水苑・城山荘・朝老園・第二野の花学園・サンビレッヂ朝日ヶ丘・夜須学園にて、お年寄りや障害者とのふれあい体験学習を行いました。

参加児童の数は前年と同様であったが、PTA等の参加が年々多くなってきています。

平成18年8月2日	中牟田小学校	5名
平成18年8月7日	三並小学校	10名
平成18年8月8日	三輪小学校	20名
平成18年8月9日	東小田小学校	10名

② 中学生の福祉施設一泊二日体験学習

菊池園・菊水苑・城山荘・第二野の花学園・朝老園・サンビレッヂ朝日ヶ丘にて、体験学習を行いお年寄りや障害者との交流、ボランティア体験を通して社会福祉の芽を育てました。

平成18年8月16日～17日	三輪中学校	39名
平成18年8月22日～23日	三輪中学校・夜須中学校	6名

(2) クリスマス交流会

① 各小学校の4年5年6年生が城山荘・菊水苑・朝老園・夜須学園・サンビレッヂ朝日ヶ丘・第二野の花学園を訪問しお年寄りや障害者とクリスマス交流会を行いました。

平成18年12月5日	三輪小学校(城山荘)(菊水苑)(朝老園)
平成18年12月6日	東小田小学校(第二野の花学園)(菊池園) (サンビレッヂ朝日ヶ丘)

平成18年12月7日 中牟田小学校（夜須学園）（城山荘）

平成18年12月8日 三並小学校（朝老園）

	児童	教諭	P T A	部会	合計
三輪小	144	5	11	4	164
東小田小	95	4	5	3	107
中牟田小	74	3	0	2	79
三並小	13	1	0	3	17
合計	326	13	16	12	367

* 中牟田小学校と東小田小学校については、今年度が初めての取り組みで緊張の中にも発表や積極的に交流が出来て良い経験が出来たとの評価

また、夜須学園とサンビレッジ朝日ヶ丘についても初めての児童の受け入れだったが、なにより利用者が大変喜ばれ感激されたとの施設側よりの感想が聞けた。

今後は、学校の総合学習の一環で福祉教育に取り組みられるので、施設との調整や学校との協議を行い、より充実した取り組みにすることが課題と思われる。

また、教育委員会への協力を得、各学校への周知を図っていく。

(3) まちの名人探検隊

子育て支援の一環として、町内の職場やそこで働く人達と接することで、子どもたちの生きる力と郷土愛を育む取り組みを行ないました。

・平成18年 7月28日(金) 秋川牧園（養鶏）産直農場 原地蔵区
小学4年生 4名 小学6年生 3名 合計 7名

(4) 福祉教育読本「ともに生きる」を三輪小学校4年生、東小田小・中牟田小・三並小学校5年生全員に配布しました。

* 今後継続し配布していく上で活用状況等を把握していく。

4. 障害者（児）福祉事業

障害者（児）の自立と社会参加の促進、各種行事の参加推進を行い、交流の機会づくりをしました。

(1) 筑前町身体障害者福祉大会

平成18年9月29日（金）

町内の共同作業所代表による活動内容等の発表をしてもらい、午後はレクリエーションを行うことで、交流を深めました。

障害者	68名	講師	2名	来賓	5名
部会	9名	ボランティア	4名	ヘルパー	3名
社協他	6名			<u>合計</u>	<u>97名</u>

(2) 手話講習会の開催

手話の会による手話入門講座を昼の部、夜の部に分けて6ヶ月間講座を行いま

した。

期 間 平成18年5月9日～10月25日

修了者 昼・夜の部あわせて 6名

(3) ガイドボランティア養成講座

視覚障害者へのガイドを学び、社会参加の支援ができるように当事者と交流しながら実際の体験学習をしました。

第1回 平成18年 6月27日 (火)

ボランティア 12名 視覚障害者 5名

第2回 平成19年 2月15日 (木)

ボランティア 11名 視覚障害者 3名

(4) 車椅子等の福祉機器貸し出し

年間実績 車椅子 45件 電動ベット 18件

(5) 重度障害者(児)遠足会

障害者1・2級の重度障害者を対象に、外出の機会づくりと、障害者間、世代間の交流を目的に遠足会を行いました。

平成18年11月7日 (火)

果樹園でのりんご狩り・柿狩り 三連水車見学 47名

(6) 障がい児の遊び場「コスモスキッズ」

障がいを持つ子供が思いっきり遊べ、ボランティア等とふれあう事で相互の理解を深め、親の思いをわかちあい、協力、支援する目的で開催しました。

年10回 開催 延べ参加者 186名 (ボランティア32名)

(7) 在宅介護者のつどい

在宅で、寝たきり、障害者、虚弱者、認知症等の家族を抱える介護者の悩みや不安などについて情報交換を行いました。また介護講習を行うとともに介護者の心身のリフレッシュを図ってもらうために、介護者のつどいを行いました。

- 平成18年 7月11日 (火) 公民館支館2階集会室

健康運動指導士・アロマセラピストによる『介護疲れを和らげ、リフレッシュできるアロマセラピー』

介護者 22名 ボランティア 11名 部会 8名

合計 41名

- 平成18年11月27日 (月)

場所 久留米ハゼ並木散策

介護者 21名

5. 母子・父子・寡婦福祉事業

(1) 母子・父子家庭ふれあい遠足

ひとり親家庭を対象に、他親子とのふれあい、情報交換等ができリフレッシュできるように遠足会を行いました。

- 平成18年11月25日（土）
場所 かしいかえん
参加人数 6家族（13名）

(2) 白百合会のつどい開催

夫と死別又は離別された時、当時15歳以下の子どもを扶養され25年以上育てられた母親の苦労をねぎらい、励ましのつどいを開催し交流を行いました。

- 平成19年 3月20日（火） 福祉館 多目的室
新会員 6名 会員 26名
来賓 6名 母子会支部長 10名 ボランティア 3名
合計 55名

6. ボランティアの育成、支援事業

(1) ボランティア連絡協議会との連携

運営委員会を開催し、ボランティアグループそれぞれの活動内容の報告を行い、ボランティア相互の理解を深めました。

筑前町ボランティアのつどいに向けて協議しました。

また、ボランティア活動拠点の確保に努めました。

① 登録団体

- ・「虹の会」（朗読ボランティア）
- ・「美和の会」（地域ボランティア）
- ・「福祉給食配送ボランティア」
- ・「女性リーダー」（老人クラブ）
- ・「さんりんしゃ」（介護支援の会）
- ・「ねこの手」（福祉支援サークル）
- ・「あっとほーむ」（「障害」児・者共生を考える会）
- ・「筑前町をきれいにするっ隊」
- ・「手話の会」
- ・「ひまわり会」
- ・「エプロン会」
- ・「つぐみの会」
- ・「野いちごの会」
- ・「つぶやきの会」（「障害」児・者問題を考える会）
- ・「アイ・アイ・フレンズ」（朗読ボランティア）
- ・「どこでん いく隊」

② 定例連絡会

2ヶ月毎 土曜日 9：00～

(2) 視察研修

ボランティアの資質向上、他地域のボランティアとの交流を図りました。

「第21回ふくおかボランティアのつどい」

- ・開催日 平成18年 9月23日（土・祝）
- ・開催場所 大刀洗町 ドリームセンター他
- ・参加者数 60人

(3) ボランティア活動参加への呼びかけ

「広報ちくぜん」や「社協だより」で、ボランティアの活動報告及びボランティア募集・ボランティア講座の募集をしています。

(4) 朗読ボランティア養成講座

一日目は元 RKB 林アナウンサーによる発声や朗読の基礎指導、二日目は朗読テープ利用者からの感想やボランティアとの関わり、朗読ボランティア（虹の会）による基礎学習を行いました。

- ・開催日 平成18年12月 5日・12日（火）13：30～15：30
- ・会場 コスモスプラザ 生涯学習館 視聴覚室
- ・参加者数 延べ 43人

(5) 筑前町ボランティアのつどい

筑前町ボランティア連絡協議会を中心に、町内でボランティア活動をしている団体や住民・役場職員等に呼びかけて開催し、ボランティア活動報告と福岡県社会福祉協議会ボランティアセンター運営委員長である古谷信一氏による講演を行いました。

- ・開催日 平成18年 2月 4日（日） 9：30～12：00
- ・開催会場 めくばーる 町民ホール
- ・参加者数 194人

7. 受託事業

(1) 敬老館運営管理事業

一般住民及び高齢者に、教養の習得・レクリエーション等のための場を提供することにより心身の健康増進を以って福祉の向上を目的とする。目的達成のため、月4回の「げんき会」（ボランティア指導によるレクリエーションや創作活動）の開催や、様々なボランティアによる演芸等を行いました。又小学校で行われている総合学習の場としても活用しています。

① 会館日数、入館者数

	年間	月平均
会館日数	302日	25日
入館者数	17,734人	1,477人

② カラオケ、風呂、訓練器具利用状況

	カラオケ		風呂利用者		訓練器具		
	町内	町外	町内	町外	ハッピーライフ	太陽灯	ホクシンヘルサー
年間	515	3	6,742	168	2,378	776	568
月平均	43	0	562	14	198	65	47

(2) 敬老館食堂事業

明るい雰囲気大切に、語らいの場として気軽に利用できるよう工夫しました。(営業時間の延長、食券販売機の導入、メニューの追加)

① 月間売上実績

単位：円

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
売上額	531,180	527,085	656,650	657,050	508,800	651,950
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
売上額	543,540	562,460	581,540	530,770	557,200	579,450
					合計	6,887,675

(3) 福祉給食サービス事業

食事を作ることが困難な高齢者や障害者に対して、給食(昼食、夕食)の調理・お届けすると共に、利用者の安否確認を行いました。

社協職員が定期的に利用者宅を訪問して給食に対する意見や状況確認などを行っています。

(給食ミーティング・・・月1回 調整会議・・・月1回)

① 給食サービス利用者

単位：日・人・食

	活動日	利用者数	昼食	夕食	合計
配食数	361	622	3,973	15,330	19,303

② 給食サービス助成金対象外利用者

単位：日・人・食

	活動日	利用者数	昼食	夕食	合計
配食数	361	200	1,732	4,152	5,884

8. 心配ごと相談事業

日常生活の悩みや心配ごとの相談窓口として、他の公的機関との連携を図り問題解決に努力いたしました。

(1) 心配ごと相談

- ・毎月第1、第3の金曜日 午後1時30分～4時 コスモプラザ保健館
- ・相談員 民生委員 8名 調停相談員 2名 人権相談員 7名
行政相談員 2名 母子相談員 2名
- ・相談件数 79件 開催(延べ)回数 24日

① 平成18年度心配ごと相談実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総件数
計	5	10	9	8	2	6	9	11	3	3	5	8	79

② 相談内容事項ごとの解決状況

相談内容事項	相談件数	解決内容			
		解決	民生委員	他機関	その他
生 計 (経済的な面から見た生活)	11	3	1	7	
生業・職業	2	1	1		
住 宅	4	1		2	1
家 族	7	4		2	1
結 婚	1	1			
離 婚	13	1		10	2
健康・衛生	1	1			
医 療	3	1		1	1
財 産	11	6		5	
事 故	2			2	
老人福祉	2	2			
苦 情	5	1		2	2
その他	17	8		4	5
合 計	79	30	1	36	12

(2) 心配ごと相談員研修会

福岡県社会福祉協議会主催で、福岡県弁護士会と連携し、相談事例により、必要な知識の習得のための研修会を開催するとともに、午後から個別に移動相談を行いました。

- ・平成19年 1月11日(木) めくばーる健康福祉館 多目的室
- 相談員及び民生児童委員 52名
- 一般参加者 3名
- ・移動相談 5件

(3) 平成19年3月8日(木) 福岡県法律相談連絡協議会による法律相談合同研修会に相談員7名が参加しました。

9. 貸付事業

(1) 育英就学資金貸付事業

高等学校以上の学校に進学を希望する低所得世帯の子弟に対し、就学の機会を与えるため就学支度金を貸付、以って安定した生活環境の下で就学に専念し、教養を高めることを目的に「育英就学資金」の貸付制度があります。

① 平成18年度現在の貸付状況 (単位 人・千円)

年度当初貸付額		年度内貸付額		年度内返還額		年度末貸付残額		滞 納 額	
件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
9	1,486	0	0	3	128	9	1,358	4	800

貸付者 9名 (督促者4名、現在返済中1名、在学中2名、返済完了者2名)

(2) 県社協生活福祉資金貸付事業

低所得者・障害者又は高齢者に対し、資金の貸付けと必要な援助指導を行うことにより、その経済的自立及び生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定をした生活を送れるようにすることを目的とした貸付事業です。

・平成18年度現在の貸付状況

平成18年度現在の貸付者 17名

平成18年度 貸付 1件

10. 共同募金事業

(1) 赤い羽根共同募金には、毎年町民の皆様から多額の募金をお寄せいただいています。その共同募金は、福岡県共同募金会に納金後、翌年度の事業費筑前町社会福祉協議会に配分金として配分されます。配分金は地域福祉活動の貴重な財源となっております。

① 募 金 額

募金内訳	目 安 額	実 績 額	内 訳
戸別募金	4,776,600	4,595,613	54区
企業募金	1,505,000	1,444,518	331件
個人募金	795,000	767,830	279件
資材募金	545,000	527,500	バッジ73個 ネクタイピン20個 図書カード211枚 クオカード260枚
一般募金	580,000	924,826	小・中学校・施設・民生委員会等 60,322円 老人クラブ 835,290円 街頭募金 29,214円
募金総額	8,201,600	8,260,287	

(2) 歳末たすけあい運動募金

歳末たすけあい募金には、毎年町民の皆様から多額の募金をお寄せいただいています。その配分金は、新たな年を迎える時期に、援助や支援を必要とする人々が地域で安心して新年を迎えられるように、支援する貴重な財源となっております。

① 募 金 額

募金内訳	目 安 額	実 績 額	内 訳
戸別募金	2,388,300	2,085,630	54区
その他募金	0	1,000	
募金合計	2,388,300	2,086,630	

(3) 歳末見舞い金

皆様からいただいた募金は、真心のこもった贈り物として、暖かいお正月をむかえられるように「見舞金」として、次の方々に贈りました。

また、地域福祉・障害者施設支援事業にも役立たせていただきました。

① 見舞金贈呈事業

対象者	件数	金額
虚弱者	26	130,000
寝たきり老人	9	45,000
身体障害者1級	66	330,000
療育手帳保持者	10	70,000
準要保護児童世帯(1名)	52	312,000
準要保護児童世帯(2名)	21	189,000
準要保護児童世帯(3名)	8	96,000
支援の必要な世帯(独居老人)	122	610,000
支援の必要な世帯(準要保護一般)	1	6,000
計	315	1,788,000

② 地域福祉・在宅福祉サービス事業

事業内容	件数	金額
住宅環境整備補修事業	1	4,855
障害者施設共同作業所等 支援事業	6	140,000
小学生と施設利用者との クリスマス交流会	7	147,822
障害者(児)との交流会事業	1	5,953
計	15	298,630

(4) バス停留所の管理

社協が管理するバス停留所の待合所は、ボランティアの方々がいつも清潔に清掃されています。

・バス停

国道386号線 上り 8停留所
下り 8停留所

太刀洗駅(北側・南側)

- ・バス停待合所建設助成 3ヶ所 300,000円
- ・バス停待合所修理 6ヶ所 109,571円
- ・社協職員により、バス停の点検を兼ねて清掃を行いました。

1.1. 広報活動の推進

社協の事業を広く町民にお知らせし、福祉事業への理解と支援をお願いするために様々な情報提供を行いました。

- (1) 町が発行する「広報ちくぜん」に毎月情報を掲載しました。
- (2) インターネットにホームページを開設し、毎月情報を更新し掲載しました。

- (3) 「ちくぜん社協だより」を年6回発行し福祉事業内容の紹介や情報提供を行い啓発に努めました。
- (4) 赤い羽根共同募金については、チラシを作成し全家庭に配布をしました。募金の使途、活動の理解とご協力をお願いしました。
- (5) 心配ごと相談や各種つどいの開催等の案内を町内放送にて適時に行い情報の提供、参加の呼びかけを行いました。